

地域密着型アグリビジネス —若者や女子力で農村活性化—

(アメリカの事例から)

農村では高齢化や後継者不足などの問題が深刻化しています。農業に対する若者の関心は広がっていますが、若者の就農は思うように進んでいません。その一因は収益です。職業として農業を成り立たせるには、経営のノウハウを身に着けることが重要です。

本講演会では、米農務省の助成を活用、ソーシャルメディアやCSAを導入するなどユニークな農業経営を展開するロゼラ・モズビー氏に、アメリカ流のアグリビジネス、農業と若者による地域づくりについて語ってもらいます。

CSA: コミュニティ・サポート・アグリカルチャーの略。消費者が自分が住む地域の農家から自家消費用の農産物を、代金前払いで直接、定期購入する仕組み。出荷は地域内に限られる。生産者と消費者のパートナーシップを醸成、地産地消の推進、家族経営の農家支援にもつながっている。

◆ 日 時 **2015年3月27日(金)**

16:00 ~ 18:00 (開場15:30)

◆ 場 所 帯広市とかちプラザ2階・視聴覚室

(帯広市西4条南13丁目1番地)

◆ 定 員 150人(定員になり次第締め切ります)

◆ 聴講料 無料(要整理券・申込)

※整理券は十勝毎日新聞社1階受付で配布しています。

※電話でも受け付けます(氏名、連絡先、所属団体をお知らせください)

[主 催] 在札幌米国総領事館、十勝毎日新聞社

[後 援] 帯広市、十勝キャリアデザインネットワーク



講 師: **ロゼラ・モズビー氏**

アメリカ・ワシントン州の野菜農家。

「モズビー・ファーム」を夫と共同で経営、自身は営業面でサポート、農作物のマーケティングを担当している。CSAの運営、食育を通じた地域との交流事業、ソーシャルメディアの活用、若者の雇用を促進、地域密着型の農業を展開している。